Creative Enzymes®

ピリミジンヌクレオシドホスホリラーゼ、組換え

Cat. No. NATE-0646

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ピリミジンヌクレオシドホスホリラーゼ（PyNPase）は、ピリミジンヌクレオシドとリン酸をピリミジン塩基とα-D-リボース1-リン酸に□換する反□を触媒するグリコシルトランスフェラーゼです。PyNPaseは、乳がんの血管新生において重要な役割を果たします。
用途	ピリミジンヌクレオシドホスホリラーゼ（PyNPase）は、特にリンパ節転移における乳がんの□性潜在能力を予測するためのマーカーとして使用される可能性があります。PyNPaseは乳がんを研究するために使用され、特に血管新生におけるその役割を調□します。
別名	ピリミジンヌクレオシドホスホリラーゼ; EC 2.4.2.2; Py-NPase; 9055-35-0; pdp (遺伝子名); PyNPase

製品情報

由来	E. coli
***EC**番号*	EC 2.4.2.2
***CAS**登□番号*	9055-35-0
活性	> 1300 U/mL
単位定義	1ユニットは、pH 7.4および25°Cで、チミジンとリン酸の各1μモルをチミンと2-デオキシリボース1-リン酸に□換します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C